

No.4

山陽学園短期大学幼児教育学科❖学科ニュース 2016

ダウン症の子どもたちと遊びました。

幼児教育学科の学生が、2016年4月24日（日）に岡山東山公民館で開催されたJDS（日本ダウン症協会）岡山支部の総会における託児ボランティアに参加しました。2年生6名と1年生1名が35人の子どもたちと楽しく過ごしました。このボランティアへの参加は今年で5年目になります。

今回は3歳以下の小さな子ども達と、4歳以上の子ども達に分かれて遊びました。小さな子ども達の部屋には、絵本や知育キューブ「いろはこ」を、大きな子どもたちの部屋には、「カプラ」と「マグネットモザイク」を用意しました。



学生の感想 *ダウン症の子どもは姿勢が崩れやすく、特に年齢が小さいほど注意が必要で、体を支えてあげるとはとても大切だと改めて分かりました。カプラで遊ぶ子どもたちのいろいろな工夫を見ることができ、ダウン症の子どもとの関わり方も改めて学ぶことができ、本当に良かったです。

*とても貴重な体験ができてよかったです。見た目の年齢と精神的な年齢との違いを理解しているつもりでしたが、実際に接してみると、戸惑うことがあり、もっと経験を積んでいきたいと思いました。